



モーニングスター株式会社

■日時 2016年6月21日（火曜日）午前10時

■場所 ホテルグランドアーク半蔵門
4階 「富士」
東京都千代田区隼町1番1号

会場が前回と異なっておりますので、末尾の「定時株主総会会場ご案内図」をご参照いただき、お間違えないようご注意ください。

本定時株主総会終了後、「経営近況報告会」を開催いたします。株主総会に引き続き、ご出席いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

第19期 定時株主総会 招集ご通知

目次

株主の皆様へ……………	1
経営成績について……………	2
配当金について……………	3
第19期定時株主総会招集ご通知 ……	4
（添付書類）	
事業報告……………	6
連結計算書類……………	25
計算書類……………	27
監査報告……………	29
株主総会参考書類	
第1号議案 取締役10名選任の件 ……	32
第2号議案 補欠監査役1名選任の件 ……	38



株主の皆様へ



代表取締役社長
朝倉 智也

株主の皆様には、日頃より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

当社は、「中立・客観的立場から豊富で偏りのない金融情報を提供し、投資家の皆様の資産形成に役立つこと」を事業の目的としております。

この目的のためには、当社の「金融情報」に、投資家の皆様から、高い信頼をいただかななくてはなりません。

当社は、設立以来、投資家の皆様の信頼を得るために、地道な施策に長く取り組んでまいりました。近頃、その成果が漸く現れ、目的に近づいてきたように感じております。

例えば、本年1月28日に発表したファンドオブザイヤーを受賞したファンドの2月の資金流入額（約1,226億円/36本）は、全体（約1,590億円/4,300本）の77.1%に達しました。また、当社が評価をつける星の数（スターレーティング）が多いファンドほど、資金流入額が多くなる傾向が顕著になってまいりました。

これらは、多くの投資家の皆様が、当社の「金融情報」を参考とされ、かつ、信頼していただいていることを示すものと思われます。

金融庁が公表した「金融・資本市場活性化有識者会合意見書」（2015年6月30日）に、「投資信託の評価情報は、各商品の収益力やリスク度合いを相対的・客観的に認識するために有効であり、顧客にとっての最適な商品・サービスの選択を容易にする観点から積極的な活用が期待される。」（同意見書からの抜粋）とあります。当社以外に有力な投資信託の評価情報会社がないことを勘案すると、この意見書は当社の金融情報が投資家の投資選択に有効であり、積

極的に活用されるべきであるといっていることになります。

当社の業績は、投資家の皆様の信頼が増し、情報利用者が増加するに伴い、拡大してまいりました。当連結会計年度の連結営業利益、連結経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は、7期連続の増益となりました。ファンド評価を行なっているモーニングスター単体の営業利益、経常利益は12期連続の増益となりました。当社は、利益の増加に応じて期末配当を増やしておりますので、当連結会計年度で7期連続の増配を行なうことができました。

今後も、より多くの投資家の皆様に、質の高い金融情報を提供し、さらなる信頼を獲得することで、業績を拡大し、株主還元を増加させていきたいと考えております。

株主の皆様には、今後とも一層のご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

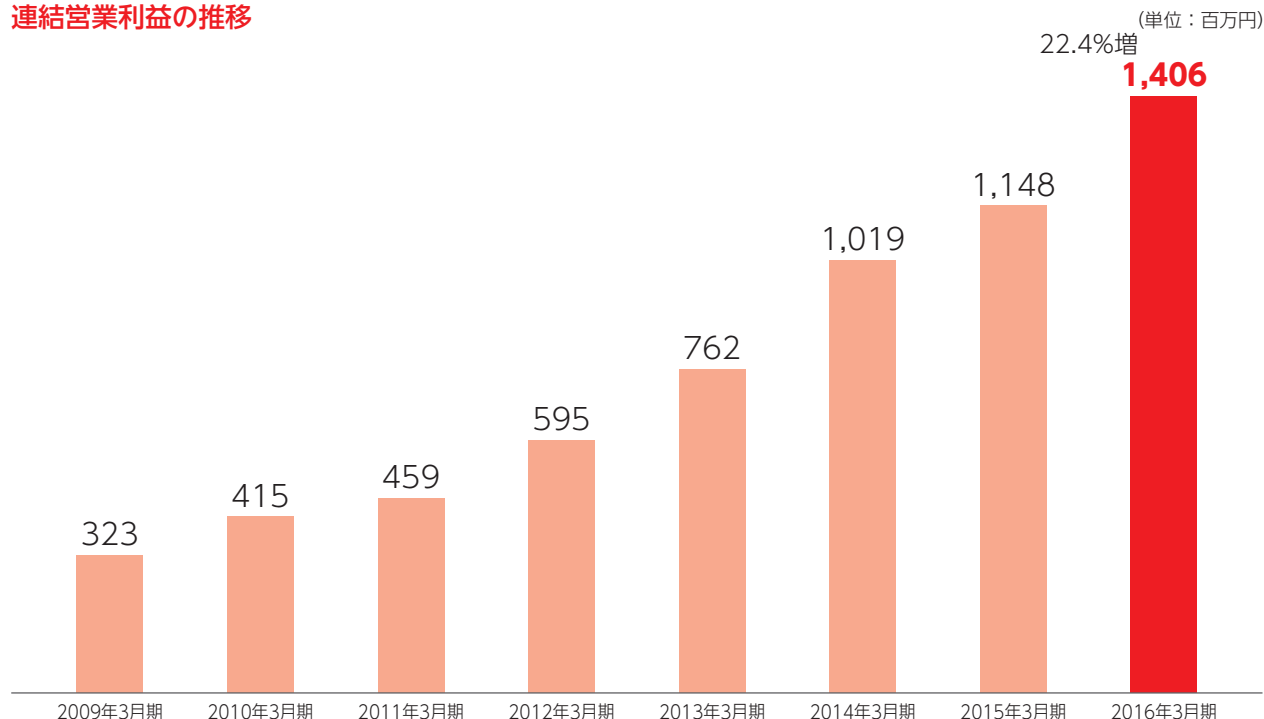
2016年6月

経営成績について

- 2016年3月期の連結売上高は、4期連続の増収となる4,669百万円となりました。
- 連結営業利益は1,406百万円、連結経常利益は1,406百万円となり、いずれも7期連続の増益、5期連続の最高益更新となりました。
- 親会社株主に帰属する当期純利益は918百万円となり、7期連続の増益、3期連続の最高益更新となりました。
- モーニングスター単体の営業利益、経常利益は12期連続の増益となりました。

詳細は、事業報告、連結計算書類および計算書類をご参照ください。

連結営業利益の推移



配当金について

■2016年3月期の期末配当は、普通配当につき2円（40.0％）増配の7円といたします。

前事業年度（2015年3月期）は、1株当たり50銭の株式上場15周年記念配当を行ないましたので（普通配当との合計5円50銭）、記念配当を含めた前事業年度比では、1株当たり1円50銭（27.2％）の増配となります。

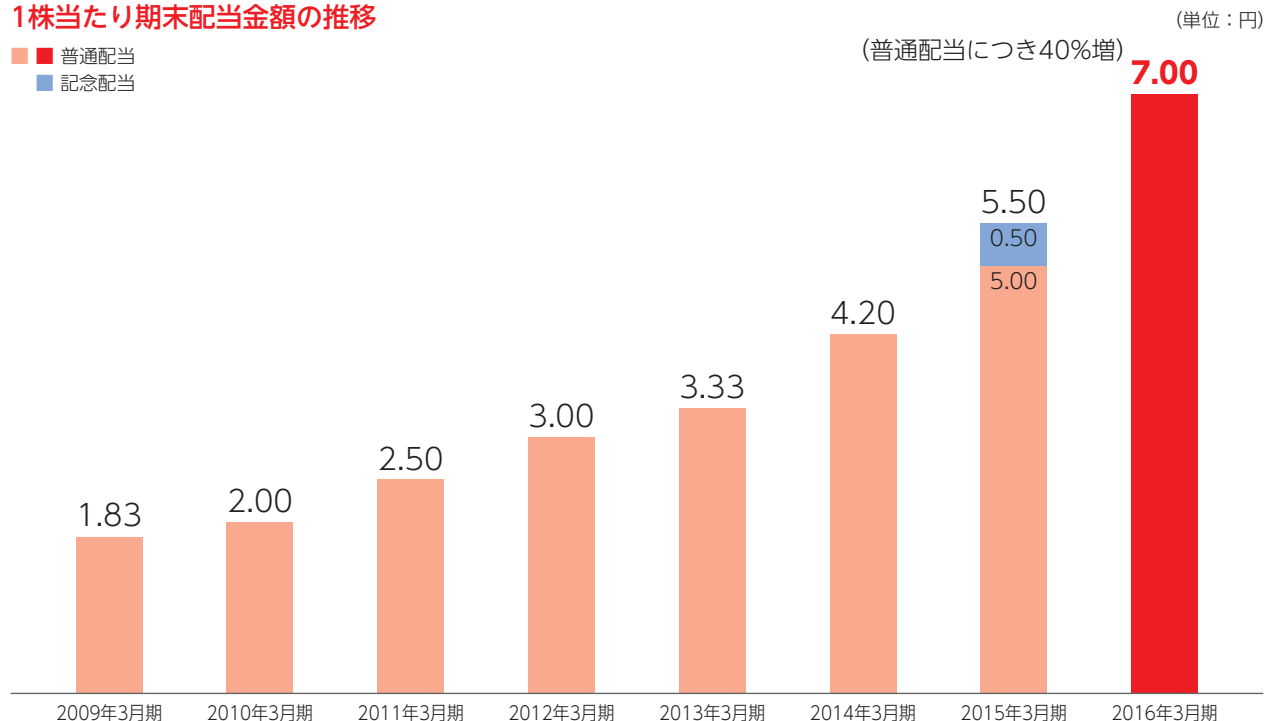
■7期連続の増配となります。

■当社は、利益の増加に応じて、期末配当を増やしております。

今後も、株主還元を増やせるように、増益を目標に、努力してまいります。

1株当たり期末配当金額の推移

■ 普通配当
■ 記念配当



※2013年7月1日に普通株式1株につき300株の割合で株式分割を行なっております。
2013年3月期以前の各事業年度は、比較のため、1株当たり期末配当金額に300分の1を乗じた金額を記載しております。

第19期定時株主総会招集ご通知

拝啓 格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当社第19期定時株主総会を下記により開催いたしますので、ご出席くださいますようご通知申し上げます。

なお、当日ご出席願えない場合は、書面によって議決権を行使することができますので、お手数ながら後記の株主総会参考書類をご検討くださいますて、同封の議決権行使書用紙に議案に対する賛否をご表示いただき、**2016年6月20日（月曜日）午後5時45分**までに到着するようご返送くださいますようお願い申し上げます。

敬 具

記

1 日 時	2016年6月21日（火曜日） 午前10時
2 場 所	東京都千代田区隼町1番1号 ホテルグランドアーク半蔵門 4階「富士」 （末尾の「定時株主総会会場ご案内図」をご参照ください。）
3 目的事項	報告事項 1. 第19期（2015年4月1日から2016年3月31日まで） 事業報告、連結計算書類ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類 監査結果報告の件 2. 第19期（2015年4月1日から2016年3月31日まで） 計算書類報告の件 決議事項 第1号議案 取締役10名選任の件 第2号議案 補欠監査役1名選任の件

以 上

- 当日ご出席の際は、お手数ながら同封の議決権行使書用紙を会場受付にご提出くださいますようお願い申し上げます。
- 代理人により議決権を行使される場合は、議決権を有する他の株主の方1名を代理人として株主総会にご出席いただけます。ただし、代理権を証明する書面として、委任状および委任者の議決権行使書用紙のご提出が必要となります。
- 株主総会参考書類ならびに事業報告、連結計算書類および計算書類に修正が生じた場合には、インターネット上の当社ウェブサイトに掲載させていただきます。
- 本総会の決議結果につきましては、インターネット上の当社ウェブサイトに掲載させていただきます。

当社ウェブサイト (<http://www.morningstar.co.jp/>)

経営近況報告会開催のご案内

本定時株主総会終了後、同会場にて「経営近況報告会」を開催いたします。

当会は本定時株主総会とは別に、代表取締役朝倉智也より、当社グループの事業内容、最近の経営状況、今後の展望などについてご説明させていただくものです。

また、株主の皆様からのご質問にもお答えいたしたいと存じます。

ご多忙の折、貴重なお時間をいただき恐縮ではございますが、この機会に当社グループへのご理解を深めていただきたく存じます。

本定時株主総会に引き続き、ご出席いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。



※事業報告、連結計算書類および計算書類の「インターネット開示情報」について

本招集ご通知に添付すべき書類のうち、事業報告の『企業集団の現況』のうち「主要な事業内容」、「主要な営業所」、「主要な借入先の状況」、「株式の状況」のうち「大株主（上位10名）」、「新株予約権等の状況」、「会社役員の状況」のうち「重要な兼職の状況」、「当事業年度中に退任した取締役」、「社外役員に関する事項」、「会計監査人の状況」、「業務の適正を確保するための体制及び当該体制の運用状況」、「会社の支配に関する基本方針」、「剰余金の配当等の決定に関する方針」、「連結計算書類」のうち「連結株主資本等変動計算書」、「連結注記表」および「計算書類」のうち「株主資本等変動計算書」、「個別注記表」は、法令および当社定款第15条の規定に基づき、インターネット上の当社ウェブサイトに掲載する「インターネット開示情報」に記載しておりますので、本招集ご通知の添付書類には記載しておりません。

なお、監査役会が監査報告書を、会計監査人が独立監査人の監査報告書を作成するに際して監査した事業報告、連結計算書類および計算書類には、本添付書類記載のもののほか、「インターネット開示情報」に記載しているものも含まれております。

添付書類

事業報告 (2015年4月1日から2016年3月31日まで)

1 企業集団の現況

(1) 事業の経過および成果

当連結会計年度（2015年4月1日から2016年3月31日まで）におけるわが国経済は、政府による経済政策や日銀による金融緩和政策等により、前半は景気回復基調で推移したものの、後半から、米国の利上げ、新興国の景気減速、資源価格の下落などの影響により、先行不透明な状況が続いております。

当社グループの事業に関連性の高い投資信託市場においては、国内公募契約型証券投資信託の純資産残高が、2015年5月から7月にかけて100兆円を超える時期もありましたが、当連結会計年度末日（2016年3月31日）は92兆4,285億円と、前連結会計年度末日（2015年3月31日）の97兆276億円から4兆5,991億円（△4.7%）の減少となりました。また、株式市場においては、日経平均株価は前連結会計年度末日の19,206円から当連結会計年度末日に16,758円と、2,448円（△12.7%）下降いたしました。

このような状況下でも、当社情報サイトのページビュー数など当社が提供する「投資信託」や「株式」の情報へのニーズは堅調に推移いたしました。また、セミナーの集客も順調に推移いたしました。これに伴いメディアソリューション（ウェブ広告とセミナー）の売上が増加いたしました。

また、金融機関の販売員向けのタブレットによる情報提供台数が、前連結会計年度末日の23,014台から当連結会計年度末日に41,314台と、18,300台（79.5%）の増加となり、それに伴いファンドデータの売上が増加いたしました。

子会社SBIアセットマネジメント株式会社が運用するファンドの純資産残高は、2015年3月末日の1,346億円から2016年3月末日に1,869億円と、522億円（38.7%）の増加となりました。それに伴い委託者報酬が増加いたしました。

その結果、当社グループの連結売上高は、4,669百万円と前連結会計年度（2014年4月1日から2015年3月31日まで）の4,190百万円から479百万円（11.4%）の増収となりました。

ファンドデータなどの比較的利益率の高いサービスの売上が増加したこと、SBIアセットマネジメント株式会社の委託者報酬の増加に伴い営業利益が増加したこと、コストを抑制した運営を堅持したことなどにより、当連結会計年度の営業利益は、前連結会計年度の1,148百万円から257百万円（22.4%）の増益となる1,406百万円となりました。

また、経常利益は、前連結会計年度の1,159百万円から247百万円（21.3%）の増益となる1,406百万円となりました。その結果、当連結会計年度の親会社株主に帰属する当期純利益は前連結会計年度の716百万円から201百万円（28.2%）の増益となる918百万円となりました。

売上高

4,190百万円 ▶ **4,669百万円** 前期比11.4%増

営業利益

1,148百万円 ▶ **1,406百万円** 前期比22.4%増

経常利益

1,159百万円 ▶ **1,406百万円** 前期比21.3%増

親会社株主に帰属する当期純利益

716百万円 ▶ **918百万円** 前期比28.2%増

(2) 直前3事業年度の財産および損益の状況

① 企業集団の財産および損益の状況

		第16期 (2013年3月期)	第17期 (2014年3月期)	第18期 (2015年3月期)	第19期 (当連結会計年度) (2016年3月期)
売上高	(千円)	2,987,610	3,920,140	4,190,516	4,669,570
営業利益	(千円)	762,819	1,019,177	1,148,555	1,406,004
経常利益	(千円)	855,805	1,107,964	1,159,610	1,406,639
親会社株主に帰属する当期純利益	(千円)	508,748	683,083	716,496	918,363
1株当たり当期純利益	(円)	6.20	8.31	8.72	11.27
総資産	(千円)	8,363,231	8,679,017	8,945,488	9,545,753
純資産	(千円)	7,801,085	8,095,915	8,226,009	8,743,411
1株当たり純資産額	(円)	93.63	98.44	100.83	106.96

(注) 1. 1株当たり当期純利益は、期中平均発行済株式数に基づき算定しております。

2. 当社は、2013年7月1日付で、株式1株につき300株の株式分割を行なっております。2014年3月期以前の各連結会計年度の1株当たり当期純利益および1株当たり純資産は、各連結会計年度の期首に株式分割を行なったものと仮定して算定しております。

② 当社の財産および損益の状況

		第16期 (2013年3月期)	第17期 (2014年3月期)	第18期 (2015年3月期)	第19期 (当事業年度) (2016年3月期)
売上高	(千円)	2,149,229	2,294,887	2,555,044	2,739,988
営業利益	(千円)	573,300	737,990	859,423	950,165
経常利益	(千円)	681,249	818,039	863,111	949,822
当期純利益	(千円)	418,654	497,810	626,459	615,112
1株当たり当期純利益	(円)	5.10	6.05	7.62	7.55
総資産	(千円)	7,756,472	8,031,841	8,191,827	8,388,923
純資産	(千円)	7,457,664	7,681,347	7,721,404	7,935,555
1株当たり純資産額	(円)	90.68	93.40	94.64	97.07

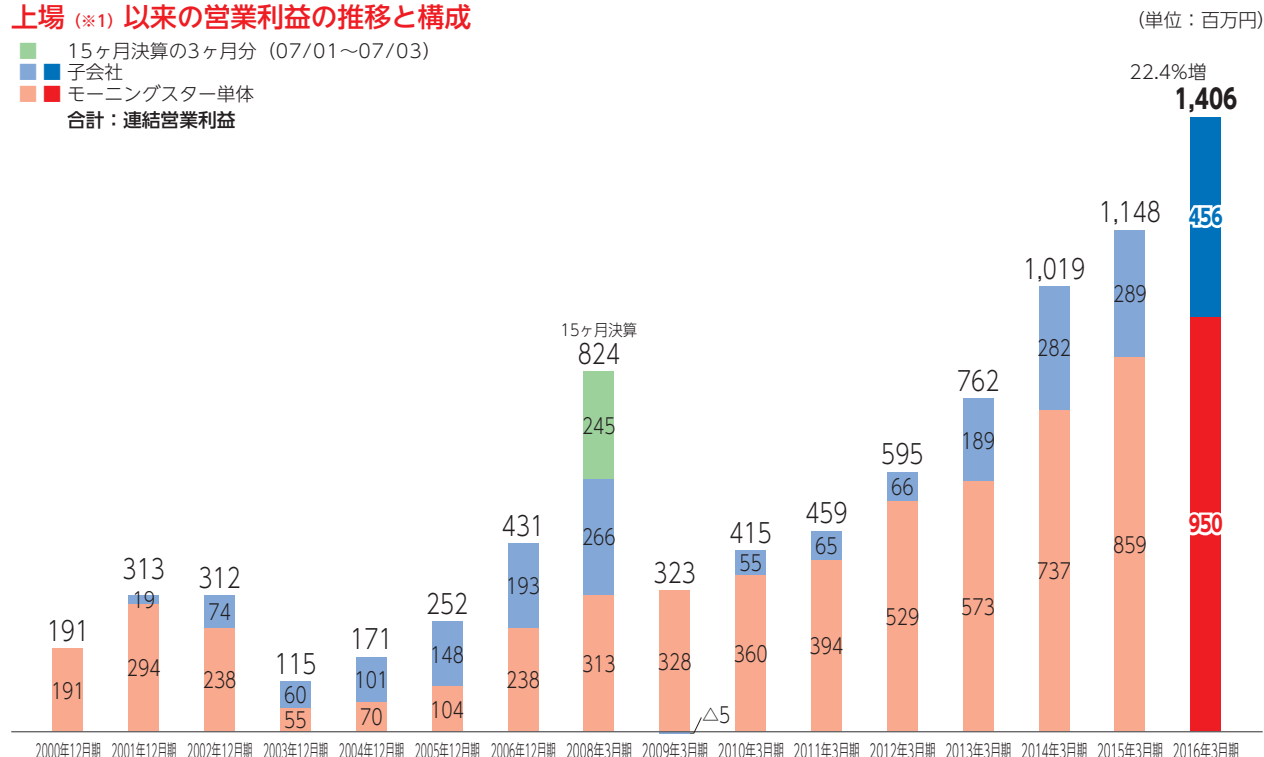
(注) 1. 1株当たり当期純利益は、期中平均発行済株式数に基づき算定しております。

2. 当社は、2013年7月1日付で、株式1株につき300株の株式分割を行なっております。2014年3月期以前の各事業年度の1株当たり当期純利益および1株当たり純資産は、各事業年度の期首に株式分割を行なったものと仮定して算定しております。

第19期（2016年3月期）決算の概要

- 連結の営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は、いずれも7期連続の増益となり、過去最高を更新いたしました。親会社株主に帰属する当期純利益は、前連結会計年度比28.2%増益の918百万円となりました。
- モーニングスター単体の営業利益、経常利益は、12期連続の増益を達成いたしました（※2）。

上場（※1）以来の営業利益の推移と構成



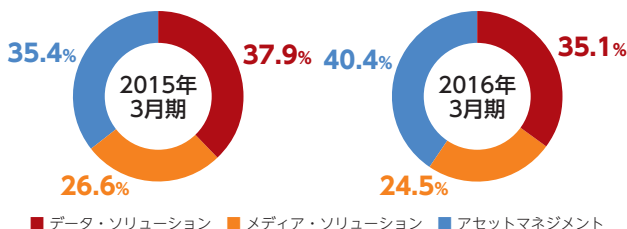
- ※1 当社は、2000年6月23日に大阪証券取引所ナスダックジャパン（現東京証券取引所ジャスダック）に上場しております。
- 2 2008年3月期は決算期変更による15ヶ月の変則決算であり、2007年1月から3月までの変則期間の営業利益を別にして、2007年4月から2008年3月までの12ヶ月間の営業利益で、連続増益期間数を算定しております。
- 3 上記グラフは、連結消去金額について記載を省略しております。

(3) サービス別売上およびセグメント利益

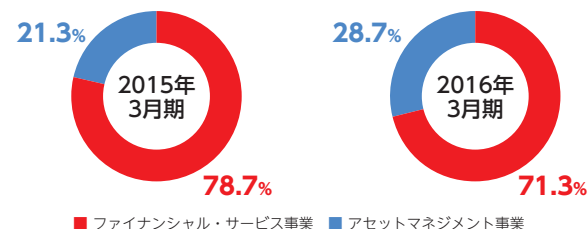
(単位：百万円)

	2015年3月期				2016年3月期			
	ファイナンシャル・サービス事業		アセット マネジメント 事業	連結 財務諸表 計上額	ファイナンシャル・サービス事業		アセット マネジメント 事業	連結 財務諸表 計上額
	データ・ ソリューション	メディア・ ソリューション			データ・ ソリューション	メディア・ ソリューション		
売上高	1,589	1,116			1,637	1,144		
	2,705		1,484	4,190	2,782		1,887	4,669
セグメント利益	903		244	1,148	1,002		403	1,406

サービス別の売上構成



セグメント利益の構成



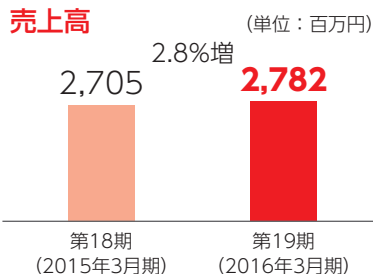
ファイナンシャル・サービス事業 売上高 2,782百万円

金融、ウェブサイトなどの情報を収集し、蓄積した情報を比較・分析・評価、加工して顧客に提供、コンサルティングなどを行なう事業であります。

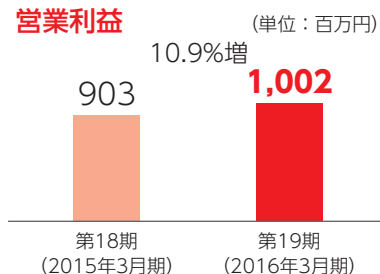
売上高構成比



売上高



営業利益

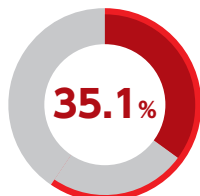


ファイナンシャル・サービス事業の当連結会計年度の売上高は、前連結会計年度の2,705百万円から76百万円(2.8%)の増収となる2,782百万円となりました。セグメント利益は、前連結会計年度の903百万円から98百万円(10.9%)の増益となる1,002百万円となりました。

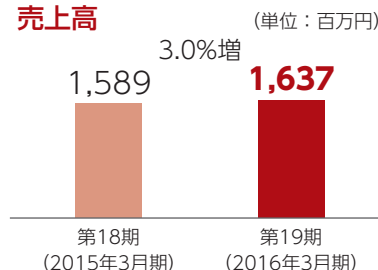
ファイナンシャル・サービス事業

データ・ソリューション

売上高構成比



売上高



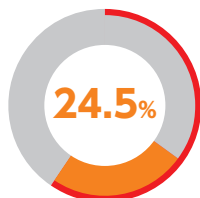
主なサービス

ファンドデータ
 ファンドレポート
 日刊「株式新聞」
 株式新聞ウェブ版
 マネールック
 その他：
 株価・企業情報配信、
 中国株式・新興国株式情報 など

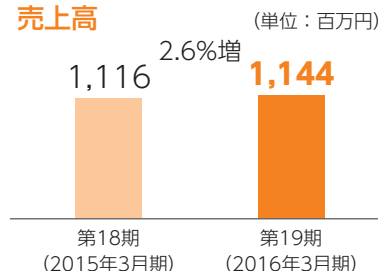
タブレットアプリの提供台数が前期末の23,014台から18,300台（79.5%）増加し、41,314台となりました。それに伴い、ファンドデータの売上が増加いたしました。また、ファンドレポート、マネールックの売上也増加いたしました。その結果、データ・ソリューションの売上高は、前連結会計年度の1,589百万円から47百万円（3.0%）の増収となる1,637百万円となりました。

メディア・ソリューション

売上高構成比



売上高



主なサービス

ウェブ広告
 資産運用セミナー
 ウェブ・コンサルティング
 その他：
 新聞広告、
 IR支援・ライフプランセミナー
 など

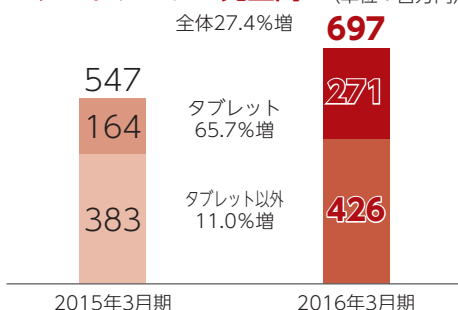
ウェブ広告や資産運用セミナーなどを統合的に提供するメディア・ソリューションが増加いたしました。また、ウェブ・コンサルティングの売上也増加いたしました。その結果、メディア・ソリューションの売上高は、前連結会計年度の1,116百万円から28百万円（2.6%）の増収となる1,144百万円となりました。

① データ・ソリューションの主なサービス

【ファンド・データ】（モーニングスター）

ファンドデータの売上高

（単位：百万円）



投資家の皆様が、適切な金融商品を選択するためには、金融機関から適切な情報が提供されることが重要です。

当社は金融機関に、投資信託を中心とした金融情報を、PCやタブレット型端末に掲載するアプリケーション・サービスで提供しております。

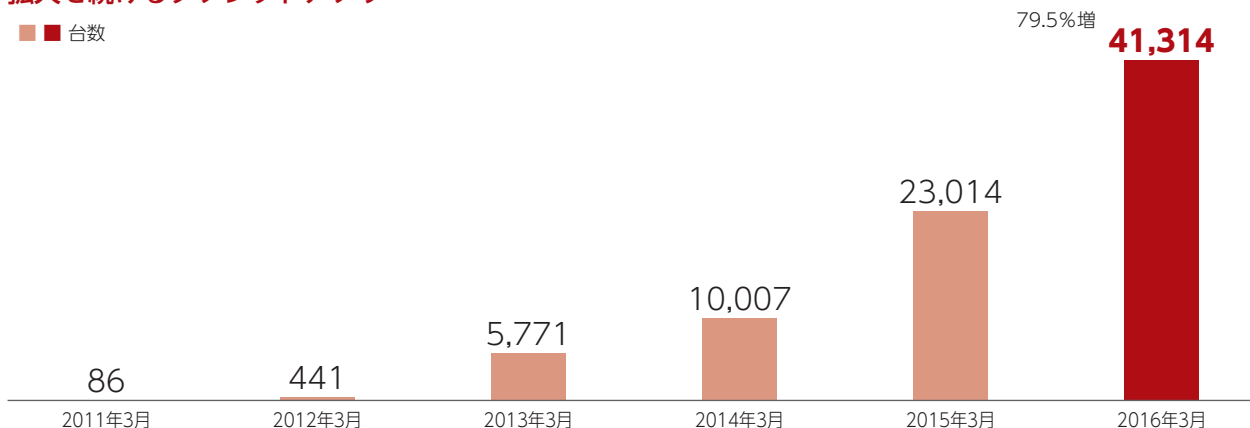
このアプリケーション・サービスは、「ファンド情報」「比較機能」「購入シミュレーション機能」

など資産運用アドバイスに欠かせない機能をタブレット型端末に搭載しております。金融機関の資産運用アドバイザーが個人のお客様により良いご提案を行なうために、たいへん役立つツールとなっております。

タブレットアプリの台数は前期比79.5%の増加となり、それに伴い、ファンド・データの売上は、前期比27.4%の増収となりました。

拡大を続けるタブレットアプリ

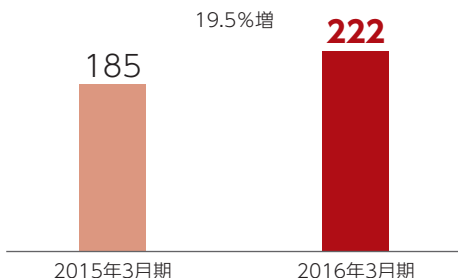
■ 台数



ファイナンシャル・サービス事業

【ファンドレポート】（モーニングスター）

ファンドレポートの売上高（単位：百万円）



当社のファンド・アナリストが、国内外の投資信託を分析したファンドレポートを投資信託運用・販売金融機関を通じて、投資家の皆様に提供しております。

また、確定拠出年金採用企業の加入者にトータルな資産形成のサポートを提供しております。

<ファンド オブ ザ イヤー>

毎年国内の公募追加型株式投資信託を対象に、リスクやリターンといった定量面と、運用調査体制等の定性面の両面か

ら、優れた運用実績とマネジメントを持つファンドを選考したアワードです。

最優秀ファンド賞、優秀ファンド賞を受賞したファンドが大きく、その純資産残高を伸ばすなど、投資家、ファンド運営会社から、大きく注目されています。

最優秀ファンド賞、優秀ファンド賞を受賞したファンドの運用会社から毎年多くのファンドレポートの受注をいただいております。ファンド・レポートの売上は、前期比19.5%の増収となりました。

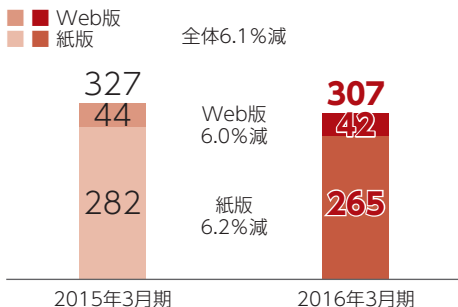
【株式新聞 株式新聞ウェブ版】（モーニングスター）

株式新聞の売上高

（単位：百万円）

●ウェブ版

●日刊紙



1949年の創刊から60年以上の歴史を持ち、証券専門紙でトップシェアを誇る日刊紙です。独自の情報網を活用した取材、徹底した調査・分析により、個人投資家の皆様の資産運用に役立つ情報を発信しております。

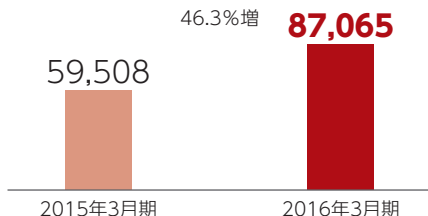
「株式新聞ウェブ版」は、日刊「株式新聞」を、パソコン、スマートフォンやタブ

レット型端末などのインターネットベースで提供するサービスです。いち早くその日の市場の動きや注目銘柄情報が閲覧でき、わかりやすい投資情報をタイムリーに提供しております。

株式新聞の売上は、前期比6.1%の減少となりました。

【マネールック】（イー・アドバイザー）

イー・アドバイザーの売上高 （単位：千円）



家計簿機能 MoneyLook



子会社 イー・アドバイザー株式会社が運営するアカウント・アプリケーションサービス「MoneyLook（マネールック）」は、気軽に自分の預金、支出の管理をしたい方向けのWeb資産管理ツールサービスです。

口座管理機能を活用することで、複数の金融機関等（銀行、証券、クレジットカード、ポイントカード、公共料金等）の残高や入出金明細を一度に確認できます。

マネールックの拡大に伴いイー・アドバイザーは前期と比べ、売上46.3%の増収、営業利益64.8%の増益となりました。

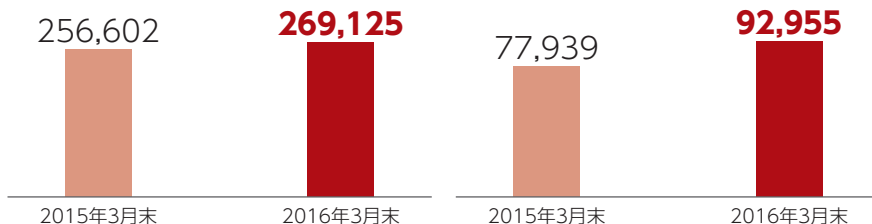
拡大する「マネールック」

WEB版のユーザ数

（単位：人）

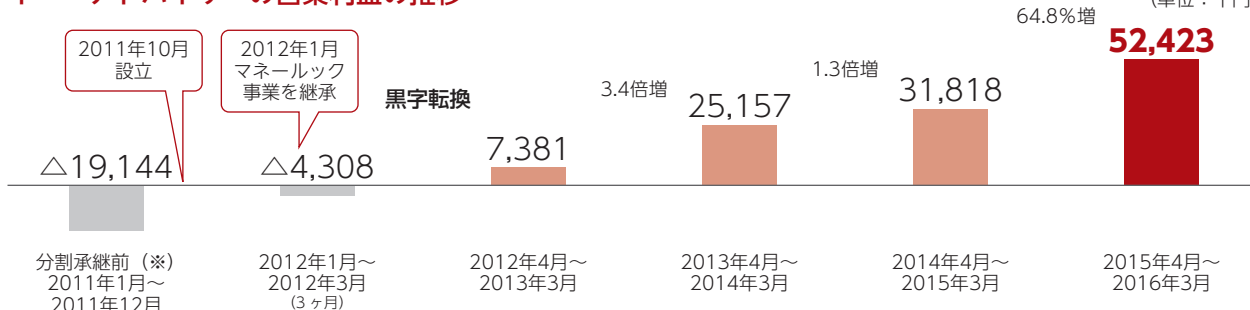
スマホアプリダウンロード数

（単位：回）



イー・アドバイザーの営業利益の推移

（単位：千円）



※イー・アドバイザー株式会社が、SBIホールディングス株式会社からマネールック事業を分割承継した時点（2012年1月1日）での、同事業に関わる営業利益を比較のために掲載しております。

ファイナンシャル・サービス事業

② メディア・ソリューションの主なサービス

【ウェブ広告・セミナー】（モーニングスター）

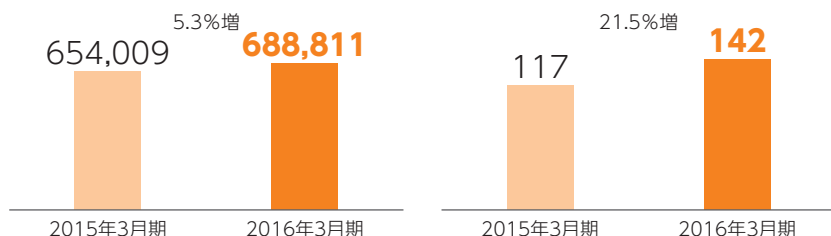
メディア・ソリューション
(WEB広告+セミナー)の売上高 (単位：千円)

スマートフォンの
ページビューの推移 (単位：百万PV)

<ウェブ広告>

当年度はスマートフォンによるページビューが大きく増加(21.5%増)いたしました。セミナーの集客数も順調に増加いたしました。

それに伴い、ウェブ広告とセミナー関連の売上を合計したメディア・ソリューションの売上高は、前期比5.3%の増収となりました。



<資産運用セミナー>

●資産運用セミナー



2016/2/27 (土)
東京国際フォーラム
「モーニングスター
アワード受賞記念
セミナー」
(来場：723名)



2016/1/16 (土)
東京ミッドタウン
「新春カンファレンス」
(来場：1,110名)

●対談動画



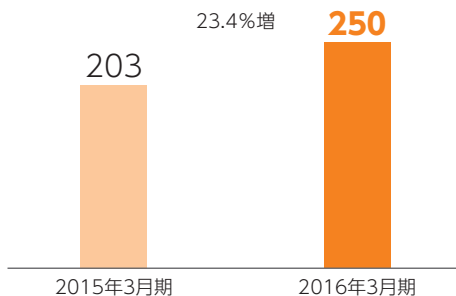
「資産運用の考え方」「話題の金融商品」「金融市場の最新動向」などをテーマにした資産運用セミナーを随時開催しております。

投資家の皆様に資産運用セミナーや企業IRセミナーに無料でご招待しております。

さらに、セミナー動画・対談動画の配信も実施しております。

【ウェブ・コンサルティング】 (モーニングスター/ゴメス・コンサルティング事業部)

ゴメス・コンサルティングの売上高 (単位：百万円)



ウェブサイト改善のための分析・アドバイス業務、ウェブサイトの制作支援業務ほかウェブ・コンサルティングを行なうゴメス・コンサルティング事業部は、フィンテック関連のウェブサイトの開発が好調に推移し、前期比23.4%の大幅な増収となりました。

Gomez情報サイトランキングは、各業界から大きな注目を集めております。

主なウェブサイトランキングの発表

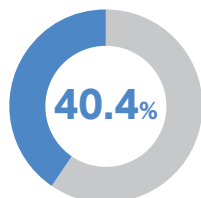
- 2016年 1月 投資用不動産情報サイトランキング
- 2015年 12月 売買不動産情報サイトランキング
- 2015年 10月 外国為替証拠金取引サービスランキング
- 2015年 9月 地方銀行サイトランキング
- 2015年 8月 転職情報サイトランキング
- 2015年 8月 投信運用会社サイトランキング
- 2015年 7月 アルバイト情報サイトランキング
- 2015年 4月 IRサイトランキング
- 2015年 4月 国内宿泊予約サイトランキング



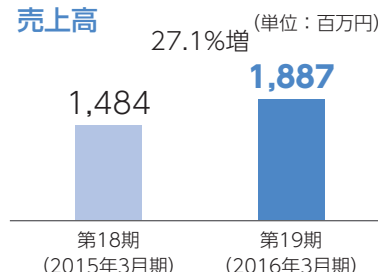
アセットマネジメント事業 売上高 1,887百万円

金融商品取引法に基づき投資信託の設定、募集、運用などの投資運用や投資助言などを行なう事業であります。

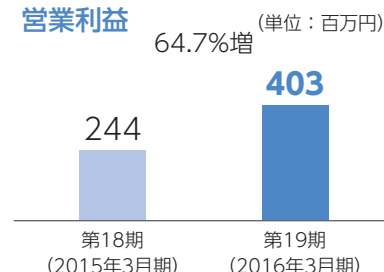
売上高構成比



売上高



営業利益



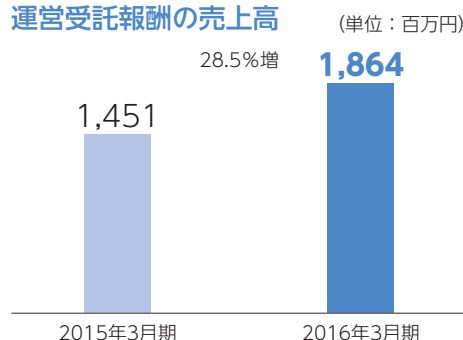
SBIアセットマネジメント株式会社が運用するファンドの純資産額が、前年同四半期末の1,347億円から522億円(38.7%)増加し1,869億円となり、それに伴い、投資委託者報酬が大幅に増加いたしました。

その結果、アセットマネジメントの売上高は、前連結会計年度の1,484百万円から402百万円(27.1%)の増収となる1,887百万円となりました。セグメント利益は、前連結会計年度の244百万円から158百万円(64.7%)の増益となる403百万円となりました。

アセットマネジメントの主なサービス

【ファンド運用受託】 (SBIアセットマネジメント)

運営受託報酬の売上高



SBIアセットマネジメント株式会社は、お客様の視点に立った革新性のある運用商品を提供しております。格付投資情報センター(R&I)の主催する『R&Iファンド大賞2016』において、国内株式総合部門で最優秀賞を受賞致しました。

R&Iファンド大賞2016

部門	表彰区分	表彰対象
国内株式総合部門	最優秀賞	SBIアセットマネジメント株式会社
国内中小型株式部門	最優秀ファンド賞	SBI中小型割安成長株ファンド「ジェイリバイブ」
NISA国内中小型株式部門	最優秀ファンド賞	
国内中小型株式部門	優秀ファンド賞	中小型成長株ファンド「ネクストジャパン」
アジア株式マルチカントリー	優秀ファンド賞	SBIインド&ベトナム株ファンド

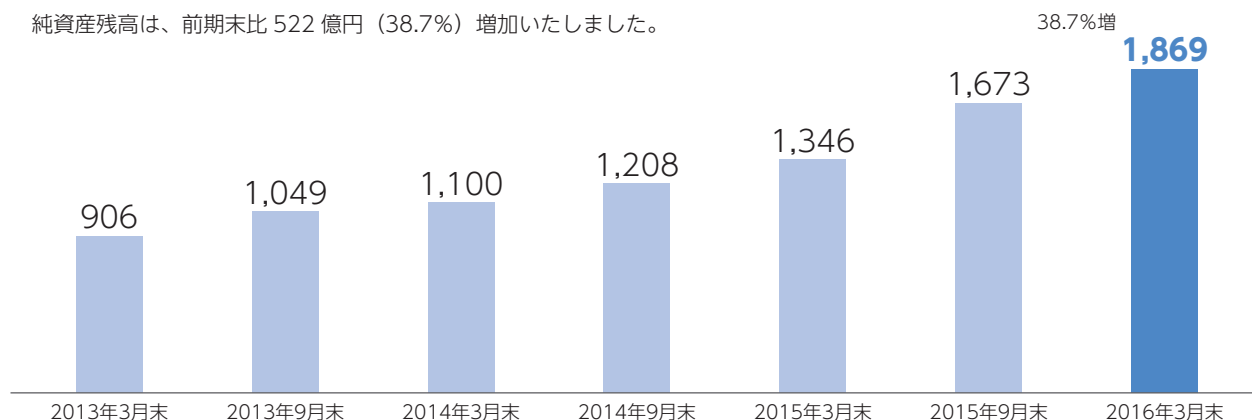
運用するファンドの純資産額

SBIアセットマネジメントの運用するファンドの純資産額は、順調に増加しております。それに伴い、SBIアセットマネジメントの業績は、每期大幅に増加しております。当連結会計年度は前連結会計年度に比べ28.5%の増収、64.9%の営業利益の増益を達成いたしました。

SBIアセットマネジメントの運用ファンドの純資産残高の推移

純資産残高は、前期末比 522 億円（38.7%）増加いたしました。

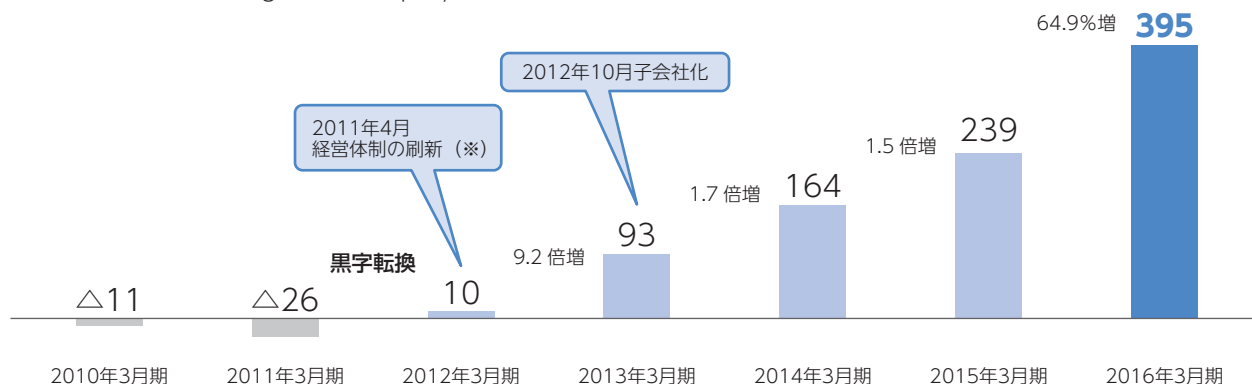
(単位：億円)



SBIアセットマネジメントの営業利益の推移

(単位：百万円)

※子会社 SBI Fund Management Company S.A. を連結した連結営業利益



※当社代表取締役朝倉智也が取締役となり経営に参与し、財務体質の改善に取り組みを始めました。

アセットマネジメント事業

SBIアセットマネジメントの主なファンドのご紹介

グローバル・リート・トリプル・プレミアム・ファンド

カバードコール戦略を駆使し、設定来21期、連続して210円（税引前）の分配実績のファンドです。
（3月末純資産：231.6億円）



SBIグローバル・ラップファンド（愛称：My-ラップ）

スマートベータやヘッジファンドを組込んだ先進的なポートフォリオ、安定型と積極型の2タイプがあります。低コストで「ラップ型」サービスをご提供する斬新なラップ型ファンドとして話題となっているファンドです。
（3月末純資産：92.6億円
安定型・積極型の合計）



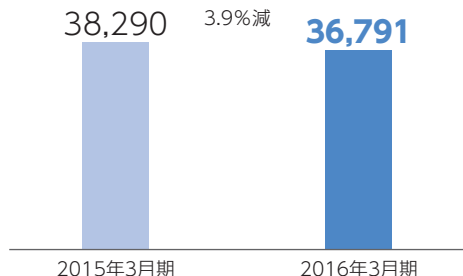
SBI中小型割安成長株ファンド（ジェイリパイプ）

『R&Iファンド大賞2015』国内中小型株式部門において、最優秀ファンド賞を受賞しました。リターンの高さもさることながら、安定的な投資効率の高さが評価されました。
（3月末純資産：92.8億円）

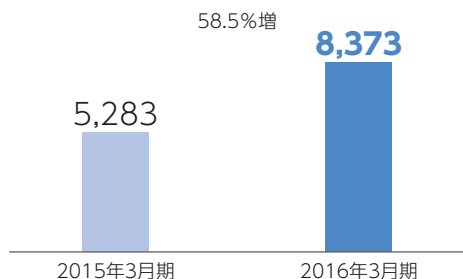


【投資助言】（モーニングスター・アセット・マネジメント）

モーニングスター・アセット・マネジメントの売上高（単位：千円）



モーニングスター・アセット・マネジメントの営業利益（単位：千円）



MORNINGSTAR
ASSET MANAGEMENT

モーニングスター・アセット・マネジメント株式会社は、確定拠出年金の加入者に対して、「投資教育」「ラインアップ分析」「投資助言」などのサポートを行なっております。また、「ファンド・オブ・ファンズ」や「ファンドラップ口座」のアセット・アロケーション（資産配分）、ファンドの選定などについて各金融機関へ助言サービスを提供しております。

モーニングスター・アセット・マネジメントの営業利益は前期比58.5%の増益となりました。

確定拠出年金教育冊子



投資助言サービス



(4) 設備投資の状況

当連結会計年度中に実施いたしました当社グループの設備投資の総額は163百万円であります。その主なものは、システムサーバおよびソフトウェアを中心とした提供サービスの品質向上、情報データベースの拡充のためのシステム投資であります。すべて、自己資金により設備投資しております。

設備投資額の推移

(単位：百万円)



(5) 資金調達の状況

該当事項はありません。

(6) 重要な組織再編等の状況

該当事項はありません。

(7) 使用人の状況 (2016年3月31日現在)

① 企業集団の使用人の状況

事業区分	使用人数	前連結会計年度末比増減
ファイナンシャル・サービス事業	88 (3) 名	6名減 (1名減)
アセットマネジメント事業	17 (-)	4名減 (-)
合 計	105 (3)	10名減 (1名減)

(注) 使用人数は就業員数であり、パートおよび嘱託社員は () 内に年間の平均人員を外数で記載しております。

② 当社の使用人の状況

使用人数	前事業年度末比増減	平均年齢	平均勤続年数
88 (3) 名	6名減 (1名減)	41.5歳	9年9ヶ月

(注) 1. 使用人数は就業員数であり、パートおよび嘱託社員は () 内に年間の平均人員を外数で記載しております。

2. 平均勤続年数は、当社が吸収合併した会社での勤続年数も通算しております。

(8) 重要な親会社および子会社の状況

① 親会社の状況

会社名	資本金 (百万円)	当社に対する 議決権比率 (%)	当社との関係
SBIグローバルアセットマネジメント株式会社	150	49.5	親会社、主要株主である筆頭株主 SBIホールディングス株式会社の 100%子会社であります。
SBIホールディングス株式会社	81,681	(49.5)	親会社 情報サービスやコンサルティングサ ービスの提供、事務所の転賃借

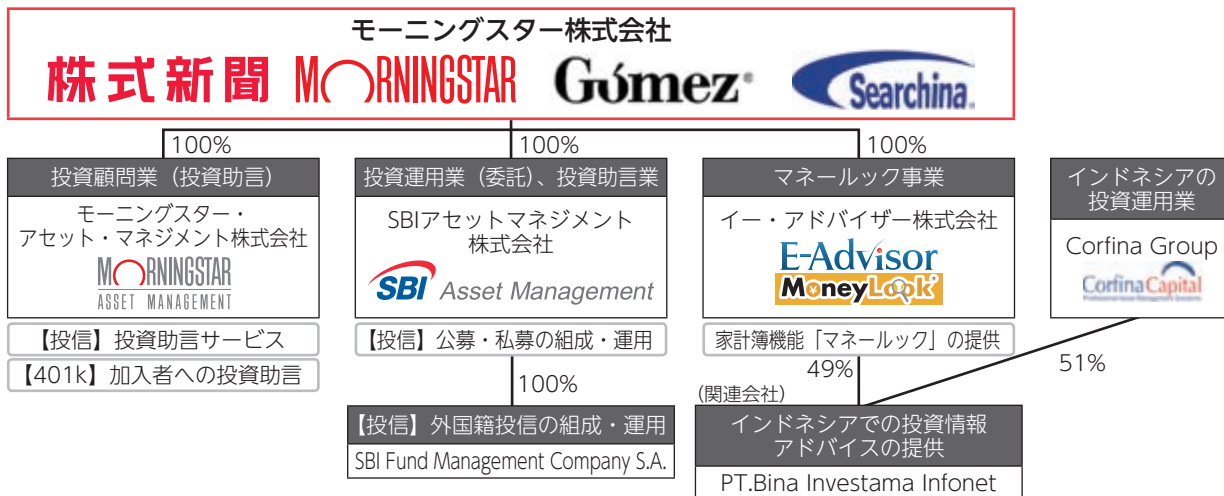
(注) 当社に対する議決権比率欄の () 内は、間接被所有割合であります。

親会社であるSBIホールディングス株式会社との取引については、他の取引先と同様の基本条件、公正な市場価格によって行なうとの基本方針をもって、同社との協議を行ないその内容を決定しており、少数株主の利益を害することのないように取引を行なっております。
当社取締役会も同様の理由で、SBIホールディングス株式会社との取引は、当社の利益を害するものではないと判断しております。

② 重要な子会社の状況

会社名	資本金 (百万円)	当社の議決権比率 (%)	主要な事業内容
モーニングスター・アセット・マネジメント株式会社	30	100	18ページ参照
イー・アドバイザー株式会社	15	100	13ページ参照
SBIアセットマネジメント株式会社	400	100	16～18ページ参照
SBI Fund Management Company S.A.	118	(100)	外国籍投信の組成・運用

(注) 当社の議決権比率欄の () 内は、間接所有割合であります。



(9) 対処すべき課題

当社グループは、中立的・客観的立場から一般投資家や消費者を含めたユーザーに有用な情報を提供することによって、「投資家および消費者主権の確立」に貢献するという理念のもと、金融を中心とした情報社会に不可欠な企業グループとして成長していくことを目標としております。そのために、当社グループの信用力・ブランド力の向上を図るとともに、提供情報・商品を発展・拡充して、投資家・消費者のためにより有用な情報を提供すること、そのための情報提供チャネルを開拓していくこと、当社グループ、SBIホールディングスグループ、Morningstar, Inc.グループでのシナジー効果を活かすことなどにより、中長期の事業運営をしていく所存であります。

中長期の経営目標を達成するために、具体的には以下の施策に重点を置いて中長期の事業運営を行なってまいります。

① 評価情報の中立性および信頼性の更なる向上

当社グループの営業基盤は、当社グループが行なう各種の評価情報の客観性と中立性にあると考えております。そのため、ユーザーからの当社グループの信頼性が損なわれないように、評価情報が客観的事実に基づくものか否かのチェック体制を構築しております。今後も評価情報の客観性を高め、中立性の確保を図り、信頼性をさらに向上させる必要があると考えております。

② ブランディング

当社グループは、投資信託を中心とする各種金融商品ならびにウェブサイトに関わる客観的な比較・評価情報を、中立的な第三者としての立場から提供することを通じて、一般投資家や消費者を含めたユーザーの皆様の適切な選択に役立ちたいと考え、事業を行っております。

この目的のためには、より多くの一般投資家・消費者の皆様に当社グループの比較・評価情報の意義・内容を理解していただく必要があり、当社グループの客観的な比較・評価情報を入手する機会を増加させる必要があります。そのためには、「モーニングスター」「ゴメス」「株式新聞」「サーチナ」「マネールック」のブランドを社会的に確立する努力が不可欠であり、ブランドの確立により、ウェブサイトほかの広告価値や提供データの利用価値を高め、業績の向上を図りたいと考えております。

③ 個人顧客および事業法人向け販売の拡大

主として国内外の投資信託・株式等の金融情報を提供するファイナンシャル・サービス事業はもとより、アセットマネジメント事業の顧客も銀行等の金融機関が多く、当社グループは、金融機関への売上割合が高いものとなっております。これまでも、当社グループは、非金融業種の顧客基盤拡大を進めてまいりましたが、今後はさらに強化に努めたいと考えております。

子会社イー・アドバイザー株式会社は、国内最大級のアカウント・アグリゲーションサービス「マネールック」事業を運営し、個人顧客への営業基盤の拡大を図っております。そのほか、株式新聞ウェブ版の提供、スマートフォン・スマートタブレットでの金融情報提供、確定拠出年金の加入者への助言サービスなどに注力することにより、個人顧客への情報提供を増やし、関連する売上の増加を図りたいと考えております。

また、確定拠出年金の加入企業への助言サービスなどに注力することにより、事業法人に対する売上の増加を図りたいと考えております。

④ 金融情報データベースの拡充

当社は、国内外の投資信託をはじめ、債券・株式その他の金融情報をデータベースに蓄え、このデータベースを基盤として、順次提供情報の質的・量的拡充に努めてまいりました。

今後は、さらに、国内・海外のファンドデータ、株価・企業情報のデータを拡充し、他社の追従を許さない総合的金融情報のデータベースを築きたいと考えております。

そして、この総合的金融情報のデータベースを基盤として、順次提供情報の量的・質的拡充を行ない、新たな商品・サービスの開拓を行ないたいと考えております。

当社は、2014年9月1日SBIサーチナ株式会社を合併し、豊富な香港、中国金融データおよび企業情報をを引継ぎ、インドネシアで投資運用業コルフィナ（Corfina）グループと合併企業PT.Bina Investama Infonetを立ち上げるなど、中国・東南アジアの金融情報データベースを拡充いたしております。

また、(4)設備投資の状況に記載のとおり、提供サービスの品質向上、情報データベースの拡充のための設備投資を怠りなく実施していきたいと考えております。

⑤ 情報環境の変化に迅速かつ適切に対応できる体制の構築

当社は、スマートフォンやスマートタブレットなどの最新の情報端末による金融情報提供を行ない、資産運用やIRなどのセミナーにUstream、Twitter、Facebookなどの最新コミュニケーションツールを活用するなど、金融市場、インターネット環境の変化に適宜対応する努力をしてまいりました。

11ページに記載のとおり、2011年3月期に開始したタブレットアプリによるファンドデータの提供は、当連結会計年度末には41,314台となり、当社の収益の柱の1つとなりました。

今後も、情報環境の変化により対応できる体制を構築し、常に最新の情報機器、コミュニケーションツールを活用した商品・サービスを提供していくことが不可欠と考えております。

当連結会計年度においては、「ロボ・アドバイザー・ツール」を活用して、金融機関のフィンテック関連需要を取り込み、確定拠出年金加入者向け投資助言サービスの提供を開始いたしました。

⑥ アセットマネジメント事業の強化

当社は、2012年10月12日に、公募株式投資信託を中心とした投資運用業および投資助言業を行なうSBIアセットマネジメント株式会社の株式を取得し、子会社といたしました。

SBIアセットマネジメント株式会社を子会社としたことにより、従来と異なる、かつ、新たな事業領域として、金融商品取引法に基づく投資信託の設定、募集、運用などの投資運用業務を行なうこととなりました。

SBIアセットマネジメント株式会社は、Morningstar, Inc.と提携する当社のグローバルなファンド・E T Fの評価情報を活用して、ファンドオブファンズやファンドラップのトータルソリューションを提供するなどお客様のニーズの多様化にお応えする革新的な商品や付加価値の高い商品の開発を行なっていきたいと考えております。

2 株式の状況 (2016年3月31日現在)

- | | |
|--------------|--------------|
| (1) 発行可能株式総数 | 315,600,000株 |
| (2) 発行済株式の総数 | 83,973,600株 |
| (3) 株主数 | 6,997名 |
| (4) 主な株主 | |

株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
S B I グローバルアセットマネジメント株式会社	40,466,100	49.5
MORNINGSTAR, INC	27,518,400	33.7

(注) 1. S B I グローバルアセットマネジメント株式会社はS B I ホールディングス株式会社の100%子会社であります。
2. 2016年3月31日現在、自己株式を2,302,000株保有しております。持株比率は自己株式を除いて計算しております。

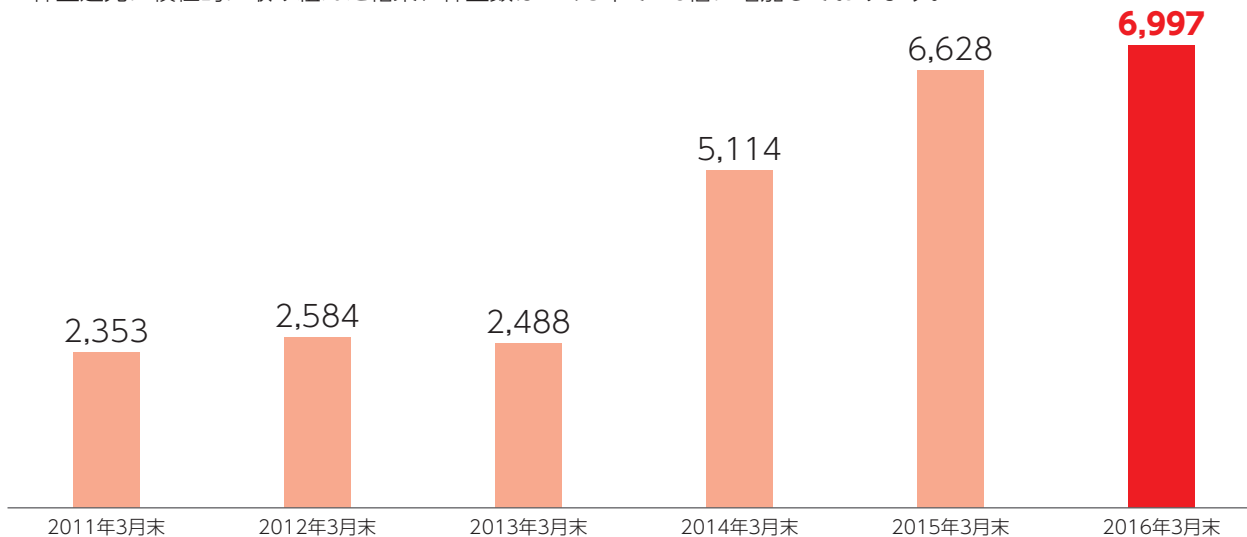
(5) その他の株式に関する重要な事項

該当事項はありません。

株主数の推移

(単位：名)

株主還元積極的に取り組んだ結果、株主数はこの3年で2.8倍に増加しております。



3 会社役員の状況

(1) 取締役および監査役の状況 (2016年3月31日現在)

会社における地位	氏名	担当
代表取締役執行役員社長	朝 倉 智 也	
取締役執行役員	小 川 和 久	管理部長
取締役執行役員	佐 原 正之助	プロダクト開発本部長
取締役執行役員	古 庄 聡	セールス&マーケティング部長
取締役執行役員	森 澤 正 人	ゴメス・コンサルティング事業部長
取締役	北 尾 吉 孝	
取締役	大 鶴 基 成	
取締役	ドナルド・ジェイムズ・フィリップス二世 (Donald James Phillips II)	
取締役	ベビン・デズモンド (Bevin Desmond)	
取締役	ステファン・ビラー (Stéphane Biehler)	
常勤監査役	緑 川 好 郎	
監査役	壺 阪 一 弘	
監査役	伊 東 俊 秀	
監査役	白 神 克 巳	

(注) 1. 取締役大鶴基成氏は社外取締役であります。監査役壺阪一弘氏、監査役伊東俊秀氏および監査役白神克巳氏は社外監査役であります。
2. 当社は、取締役大鶴基成氏および監査役伊東俊秀氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員に指定し、同取引所に届け出ております。
3. 当事業年度中の取締役および監査役の異動は次のとおりです。
2015年6月17日開催の第18期定時株主総会において、新たに大鶴基成氏が取締役に選任されました。

(2) 取締役および監査役の報酬等

当事業年度に係る報酬等の総額

区分	当事業年度に係る報酬等の総額		うち社外役員分	
	支給人員 (名)	支給額 (千円)	支給人員 (名)	支給額 (千円)
取締役	6	73,646	1	2,700
監査役	1	6,000	—	—
合 計	7	79,646	1	2,700

(注) 2000年3月21日開催の第4期定時株主総会決議による報酬限度額は、取締役年額500百万円以内、監査役年額100百万円以内であります。

連結計算書類

■ 連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	第19期 2016年3月31日現在
資産の部	
流動資産	8,068,261
現金及び預金	7,348,617
売掛金	541,155
有価証券	69,371
たな卸資産	29,265
繰延税金資産	22,394
その他	57,457
固定資産	1,477,492
有形固定資産	75,949
建物付属設備	18,493
器具備品	57,455
無形固定資産	1,161,545
のれん	837,783
ソフトウェア	276,229
その他	47,532
投資その他の資産	239,997
投資有価証券	24,255
繰延税金資産	5,086
その他	210,655
資産合計	9,545,753

科目	第19期 2016年3月31日現在
負債の部	
流動負債	802,342
買掛金	81,640
未払金	311,991
未払法人税等	305,823
未払消費税等	58,704
その他	44,182
負債合計	802,342
純資産の部	
株主資本	8,735,372
資本金	2,115,620
資本剰余金	3,248,940
利益剰余金	3,768,657
自己株式	△ 397,844
新株予約権	8,038
純資産合計	8,743,411
負債・純資産合計	9,545,753

■ 連結損益計算書

(単位：千円)

科目	第19期 2015年4月1日から 2016年3月31日まで
売上高	4,669,570
売上原価	2,486,481
売上総利益	2,183,089
販売費及び一般管理費	777,085
営業利益	1,406,004
営業外収益	2,465
受取利息	1,071
外国税還付金	900
その他	493
営業外費用	1,830
支払利息	45
持分法による投資損失	580
為替差損	1,203
その他	1
経常利益	1,406,639
税金等調整前当期純利益	1,406,639
法人税、住民税及び事業税	481,175
法人税等調整額	7,099
当期純利益	918,363
親会社株主に帰属する当期純利益	918,363

計算書類

貸借対照表

(単位：千円)

科目	第19期 2016年3月31日現在
資産の部	
流動資産	6,482,616
現金及び預金	6,053,654
売掛金	271,995
有価証券	69,371
仕掛品	28,161
貯蔵品	1,046
前払費用	38,737
繰延税金資産	15,604
その他	4,045
固定資産	1,906,307
有形固定資産	64,602
建物付属設備	15,243
器具備品	49,358
無形固定資産	1,103,903
のれん	837,783
ソフトウェア	225,468
その他	40,652
投資その他の資産	737,801
投資有価証券	5,410
子会社株式	544,846
長期前払費用	89,745
繰延税金資産	5,031
差入保証金	92,767
資産合計	8,388,923

科目	第19期 2016年3月31日現在
負債の部	
流動負債	453,368
買掛金	81,640
未払金	100,936
未払費用	205
未払消費税等	32,710
未払法人税等	196,746
前受金	35,321
預り金	5,808
負債合計	453,368
純資産の部	
株主資本	7,927,516
資本金	2,115,620
資本剰余金	3,248,940
資本準備金	2,506,927
その他資本剰余金	742,013
利益剰余金	2,960,801
その他利益剰余金	2,960,801
繰越利益剰余金	2,960,801
自己株式	△ 397,844
新株予約権	8,038
純資産合計	7,935,555
負債・純資産合計	8,388,923

■ 損益計算書

(単位：千円)

科目	第19期 2015年4月 1 日から 2016年3月31日まで
売上高	2,739,988
売上原価	1,256,526
売上総利益	1,483,462
販売費及び一般管理費	533,297
営業利益	950,165
営業外収益	967
受取利息	898
その他	69
営業外費用	1,310
為替差損	1,307
その他	2
経常利益	949,822
税引前当期純利益	949,822
法人税、住民税及び事業税	326,504
法人税等調整額	8,204
当期純利益	615,112

監査報告

■連結計算書類に係る会計監査報告

独立監査人の監査報告書

2016年5月13日

モーニングスター株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士 遠藤 康彦 ㊞
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士 古谷 大二郎 ㊞

当監査法人は、会社法第444条第4項の規定に基づき、モーニングスター株式会社の2015年4月1日から2016年3月31日までの連結会計年度の連結計算書類、すなわち、連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表について監査を行った。

連結計算書類に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して連結計算書類を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない連結計算書類を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から連結計算書類に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に連結計算書類に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、連結計算書類の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による連結計算書類の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、連結計算書類の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての連結計算書類の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の連結計算書類が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、モーニングスター株式会社及び連結子会社からなる企業集団の当該連結計算書類に係る期間の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

■計算書類に係る会計監査報告

独立監査人の監査報告書

2016年5月13日

モーニングスター株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員	公認会計士	遠藤 康彦 ㊞
業務執行社員		
指定有限責任社員	公認会計士	古谷 大二郎 ㊞
業務執行社員		

当監査法人は、会社法第436条第2項第1号の規定に基づき、モーニングスター株式会社の2015年4月1日から2016年3月31日までの第19期事業年度の計算書類、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表並びにその附属明細書について監査を行った。

計算書類等に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して計算書類及びその附属明細書を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない計算書類及びその附属明細書を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から計算書類及びその附属明細書に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に計算書類及びその附属明細書に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、計算書類及びその附属明細書の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による計算書類及びその附属明細書の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、計算書類及びその附属明細書の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての計算書類及びその附属明細書の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の計算書類及びその附属明細書が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、当該計算書類及びその附属明細書に係る期間の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

■監査役会の監査報告

当監査役会は、2015年4月1日から2016年3月31日までの第19期事業年度の取締役の職務の執行に関して、各監査役が作成した監査報告書に基づき、審議の上、本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

1. 監査役及び監査役会の監査の方法及びその内容

- (1) 監査役会は、監査の方針、職務の分担等を定め、各監査役から監査の実施状況及び結果について報告を受けるほか、取締役等及び会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。
- (2) 各監査役は、監査役会が定めた監査役監査の基準に準拠し、監査の方針、職務の分担等に従い、取締役、内部監査部門その他の使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、以下の方法で監査を実施しました。
 - ① 取締役会その他重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。また、子会社については、子会社の取締役及び監査役等と意思疎通及び情報の交換を図り、必要に応じて子会社から事業の報告を受けました。
 - ② 事業報告に記載されている取締役の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制その他株式会社及びその子会社から成る企業集団の業務の適正を確保するために必要なものとして会社法施行規則第100条第1項及び第3項に定める体制の整備に関する取締役会決議の内容及び当該決議に基づき整備されている体制（内部統制システム）について、取締役及び使用人等からその構築及び運用の状況について定期的に報告を受け、必要に応じて説明を求め、意見を表明いたしました。
 - ③ 事業報告に記載されている会社法施行規則第118条第5号イの留意した事項及び同号ロの判断及び理由については、取締役会その他における審議の状況等を踏まえ、その内容について検討を加えました。
 - ④ 会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正な監査を実施しているかを監視及び検証するとともに、会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。また、会計監査人から「職務の遂行が適正に行われることを確保するための体制」（会社計算規則第131条各号に掲げる事項）を「監査に関する品質管理基準」（平成17年10月28日企業会計審議会）等に従って整備している旨の通知を受け、必要に応じて説明を求めました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書、計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書並びに連結計算書類（連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表）について検討いたしました。

2. 監査の結果

- (1) 事業報告等の監査結果
 - ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
 - ② 取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。
 - ③ 内部統制システムに関する取締役会決議の内容は相当であると認めます。また、当該内部統制システムに関する事業報告の記載内容及び取締役の職務の執行についても、指摘すべき事項はありません。
 - ④ 事業報告に記載されている親会社等との取引について、当該取引をするに当たり当社の利益を害さないように留意した事項及び当該取引が当社の利益を害さないかどうかについての取締役会の判断及びその理由について、指摘すべき事項はありません。
- (2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果
会計監査人有限責任監査法人トーマツの監査の方法及び結果は相当であると認めます。
- (3) 連結計算書類の監査結果
会計監査人有限責任監査法人トーマツの監査の方法及び結果は相当であると認めます。

2016年5月18日

モーニングスター株式会社 監査役会

常勤監査役	緑	川	好	郎	㊞
社外監査役	壺	阪	一	弘	㊞
社外監査役	伊	東	俊	秀	㊞
社外監査役	白	神	克	巳	㊞

以 上

株主総会参考書類

第1号議案 取締役10名選任の件

現任取締役10名は、本定時株主総会終結の時をもって全員任期満了となりますので、引き続き現任取締役10名の選任をお願いするものであります。

取締役候補者は、次のとおりであります。

候補者番号	氏 名	現在の当社における地位・担当
1	あさ くら とも や 朝 倉 智 也	代表取締役執行役員社長 再任
2	きた お よし たか 北 尾 吉 孝	取締役 再任
3	お がわ かず ひさ 小 川 和 久	取締役執行役員 管理部長 再任
4	さ はら しょうの すけ 佐 原 正之助	取締役執行役員 プロダクト開発本部長 再任
5	ふる しょう さとし 古 庄 聡	取締役執行役員 セールス&マーケティング部長 再任
6	もり さわ まさ と 森 澤 正 人	取締役執行役員 ゴメス・コンサルティング事業部長 再任
7	おお つる もと なり 大 鶴 基 成	社外取締役 再任 独立
8	Donald James Phillips II ドナルド・ジェイムズ・フィリップス二世	取締役 再任
9	Bevin Desmond ベビン・デズモンド	取締役 再任
10	Stéphane Biehler ステファン・ビラー	取締役 再任

1. あさ くら とも や 朝倉 智也 (1966年3月16日生) 所有する当社の株式数 128,400株

再任

略歴、当社における地位および担当

1989年 4 月	(株)北海道拓殖銀行 入社	2011年 4 月	S B I アセットマネジメント(株)取締役 (現任)
1995年 6 月	ソフトバンク(株) 入社	2012年 2 月	S B I サーチナ(株) (現 当社) 代表取締役社長
1998年11月	当社 入社	2012年 6 月	S B I ホールディングス(株)取締役執行役員常務
2000年 3 月	当社取締役	2012年 7 月	当社代表取締役執行役員社長 (現任)
2004年 7 月	当社代表取締役社長	2013年 6 月	S B I ホールディングス(株) 取締役執行役員専務 (現任)
2005年12月	当社代表取締役執行役員COO		
2007年 6 月	S B I ホールディングス(株)取締役執行役員		

重要な兼職の状況

S B I ホールディングス株式会社	取締役執行役員専務	S B I アセットマネジメント株式会社	取締役
イー・アドバイザー株式会社	代表取締役社長	S B I 損害保険株式会社	取締役
モーニングスター・アセット・マネジメント株式会社	代表取締役社長	S B I 生命保険株式会社	取締役
S B I ボンド・インベストメント・マネジメント株式会社	代表取締役会長		

2. きた お よし たか 北尾 吉孝 (1951年1月21日生) 所有する当社の株式数 183,200株

再任

略歴、当社における地位および担当

1974年 4 月	野村證券(株) 入社	2006年 3 月	当社取締役執行役員CEO
1995年 6 月	ソフトバンク(株)常務取締役	2012年 6 月	S B I ホールディングス(株) 代表取締役執行役員社長 (現任) 当社取締役 (現任)
1999年 7 月	当社代表取締役 ソフトバンク・インベストメント(株) (現 S B I ホールディングス(株)) 代表取締役社長		

重要な兼職の状況

S B I ホールディングス株式会社	代表取締役執行役員社長	S B I Hong Kong Holdings Co., Limited	Representative Director
株式会社 S B I 証券	代表取締役会長	S B I リクイディティ・マーケット株式会社	取締役会長
S B I インベストメント株式会社	代表取締役執行役員会長	株式会社ネクシィーズ・トレード	取締役会長
S B I ファーマ株式会社	代表取締役執行役員CEO	S B I キャピタルマネジメント株式会社	取締役会長
S B I ウェルネスバンク株式会社	代表取締役会長	S B I ファイナンシャルサービス株式会社	取締役会長
株式会社 SBI BITS	代表取締役会長		

3. お がわ かず ひさ 小川 和久 (1962年1月4日生) 所有する当社の株式数 15,000株

再任

略歴、当社における地位および担当

1986年10月	英和監査法人 (現 有限責任あずさ監査法人) 入社	2005年 3 月	当社取締役執行役員CFO
1995年 8 月	監査法人トーマツ (現 有限責任監査法人トーマツ) 入社	2012年 7 月	当社取締役執行役員管理部長 (現任)

重要な兼職の状況

モーニングスター・アセット・マネジメント株式会社	監査役	S B I アセットマネジメント株式会社	監査役
イー・アドバイザー株式会社	監査役		

4. さ はら しょう の すけ 佐原 正之助 (1968年5月1日生) 所有する当社の株式数 46,400株

再任

略歴、当社における地位および担当

1991年 4 月	山一證券(株) 入社	2012年 7 月	当社取締役執行役員プロダクト・サービス部長
1998年 4 月	当社 入社	2014年 9 月	当社取締役執行役員ウェブマーケティング部長
2005年 3 月	当社取締役プロダクト・サービス部 ゼネラルマネージャー	2014年12月	PT.Bina Investama Infonet監査役 (現任)
2011年10月	イー・アドバイザー(株)取締役 (現任)	2015年 1 月	当社取締役執行役員プロダクト開発本部長 (現任)

重要な兼職の状況

イー・アドバイザー株式会社	取締役	PT.Bina Investama Infonet	監査役
---------------	-----	---------------------------	-----

5. ふるしょう さとし 古庄 聡 (1969年3月18日生) 所有する当社の株式数 14,400株

再任

略歴、当社における地位および担当

1991年 4 月	千代田生命保険相互会社 (現 ジブラルタ生命保険(株)) 入社	2009年 1 月	当社取締役営業企画部ゼネラルマネージャー
2000年 4 月	当社 入社	2011年10月	モーニングスター・アセット・マネジメント(株) 取締役企画管理部長
2006年 3 月	当社取締役セールス&マーケティング部 ゼネラルマネージャー	2012年 7 月	当社取締役執行役員営業企画部長
		2015年 1 月	当社取締役執行役員セールス&マーケティング 部長(現任)

6. ^{もり さわ まさ と}森澤 正人 (1974年7月29日生) 所有する当社の株式数 52,800株

再任

略歴、当社における地位および担当

1998年 4 月	ソフトバンク(株) 入社	2008年11月	同社代表取締役執行役員CEO
1999年 4 月	ソフトバンク・ファイナンス(株) (現 ソフトバンクテレコム(株)) 入社	2011年 6 月	当社取締役ゴメス・コンサルティング事業部 ゼネラルマネージャー
2003年 3 月	ゴメス・コンサルティング(株) (現 当社) 取締役	2012年 7 月	当社取締役執行役員 ゴメス・コンサルティング事業部長 (現任)
2006年 3 月	同社代表取締役執行役員COO	2013年11月	SBIサーチナ(株) (現 当社) 取締役

7. ^{おお つる もと なり}大鶴 基成 (1955年3月3日生) 所有する当社の株式数 ー株

再任

独立

社外

略歴、当社における地位および担当

1980年 4 月	検事任官	2012年 7 月	アウロラ債権回収株式会社 社外取締役 (現任)
2000年 6 月	東京地検特別捜査部副部長 (財政経済担当)	2012年12月	META Capital株式会社 社外取締役 (現任)
2001年 4 月	法務省刑事局公安課長, 司法試験委員	2014年 1 月	一般社団法人日本野球機構 調査委員長 (現任)
2002年 8 月	東京地検特別捜査部副部長 (特殊直告担当)	2014年 6 月	イオンフィナンシャルサービス株式会社 社外取締役 (現任)
2005年 4 月	東京地検特別捜査部長	2015年 6 月	当社 社外取締役 (現任)
2007年 1 月	函館地検検事正		
2008年 1 月	最高検検事 (財政経済担当)		
2010年 3 月	東京地検次席検事		
2011年 8 月	最高検公判部長, 検事退官, 弁護士登録 (第一東京弁護士会), サン綜合法律事務所 属 客員弁護士 (現任)		

重要な兼職の状況

サン綜合法律事務所	客員弁護士	META Capital株式会社	社外取締役
アウロラ債権回収株式会社	社外取締役	イオンフィナンシャルサービス株式会社	社外取締役
一般社団法人日本野球機構	調査委員長		

8. ^{Donald James Phillips II}ドナルド・ジェームズ・フィリップス二世 (1962年4月10日生) 所有する当社の株式数 ー株

再任

略歴、当社における地位および担当

1986年10月	Morningstar, Inc. 入社	1998年 4 月	当社取締役 (現任)
1996年 1 月	Morningstar, Inc. Director & President	2000年10月	Morningstar, Inc. Managing Director (現任)

重要な兼職の状況

Morningstar, Inc.	Managing Director
-------------------	-------------------

9. Bevin Desmond

ベビン・デズモンド (1966年11月9日生) 所有する当社の株式数 一株

再任

略歴、当社における地位および担当

1988年 9 月 マサチューセッツ州エベレスト市職員
1993年 9 月 Morningstar, Inc. 入社
1999年10月 当社取締役 (現任)

2000年10月 Morningstar, Inc. Head of Global Markets and Human Resources (現任)

重要な兼職の状況

Morningstar, Inc. Head of Global Markets and Human Resources

10. Stéphane Biehler

ステファン・ビラー (1967年12月23日生) 所有する当社の株式数 一株

再任

略歴、当社における地位および担当

1991年 8 月 Deloitte 入社
2002年 3 月 Archipelago Holdings Managing Director & Corporate Controller
2007年12月 NYSE Euronext Executive Vice President, Chief Accounting Officer & Corporate Controller

2013年11月 Morningstar, Inc. Chief Financial Officer (現任)
2014年 6 月 当社取締役 (現任)

重要な兼職の状況

Morningstar, Inc. Chief Financial Officer

(注) 1. 北尾吉孝氏は、SBIホールディングス(株)の代表取締役執行役員社長を兼務しており、朝倉智也氏は、同社の取締役執行役員専務を兼務しております。当社は、同社に情報サービスやコンサルティングサービスを提供しております。また、当社は同社から事務所の転賃借を受けております。また、取締役候補者北尾吉孝氏は、(株)SBI証券の代表取締役会長を兼務しております。当社は、同社に情報サービスやコンサルティングサービスを提供しております。

ドナルド・ジェイムズ・フィリップス二世氏、ベビン・デズモンド氏、ステファン・ビラー氏の3名が役職員を兼務するMorningstar, Inc. は、当社に対してライセンス等を供与しているほか、当社との間で、相互に商品・サービスの販売・購買等の取引を行っております。

その他の取締役候補者と当社との間に特別の利害関係はありません。

2. 取締役候補者は全員が再任候補者であります。
3. 大鶴基成氏は、社外取締役候補者であります。
4. 大鶴基成氏は、検事、弁護士としての豊富な知識と経験を有し、法務・コンプライアンスを中心に当社の経営に対する監督や経営全般に係る助言を受けることにより、コーポレート・ガバナンスの一層の強化・充実を図ることができるものと判断し、社外取締役候補者とするものであります。大鶴基成氏は、過去に社外取締役となること以外の方法で会社の経営に関与した経験はありませんが、同様の理由により、社外取締役としての職務を適切に遂行できると判断しております。
5. 大鶴基成氏は、現在、当社の社外取締役であります。社外取締役としての在任期間は本株主総会終結の時をもって1年となります。
6. 当社は、大鶴基成氏を東京証券取引所の定める独立役員として届け出ており、大鶴基成氏の選任が承認された場合、引き続き独立役員とする予定であります。
7. 当社は定款第26条第2項において、会社法第427条第1項の規定に基づき、社外取締役との間に、同法第423条第1項の社外取締役の賠償責任を限定する契約を締結することのできる旨を定めており、当社は、大鶴基成氏との間で、100万円または法令が定める最低責任限度額のいずれか高い額を限度とする責任限定契約を締結しております。同氏の選任が承認された場合、当該契約を継続する予定であります。

8. 取締役候補者の現在または過去5年間に於ける当社の親会社または親会社の子会社の業務執行者としての地位および担当は、以下のとおりです。

取締役候補者	当社の親会社または親会社の子会社	業務執行者としての地位および担当
朝 倉 智 也	S B I ホールディングス株式会社	取締役執行役員専務（現任）
	モーニングスター・アセット・マネジメント株式会社	代表取締役（現任）
	イー・アドバイザー株式会社	代表取締役（現任）
	S B I 少短保険ホールディングス株式会社	代表取締役（現任）
	S B I ボンド・インベストメント・マネジメント株式会社	代表取締役会長（現任）
	S B I アセットマネジメント株式会社	取締役（現任）
	MS Investment Services	ディレクター
北 尾 吉 孝	S B I ホールディングス株式会社	代表取締役執行役員社長（現任）
	株式会社 S B I 証券	代表取締役会長（現任）
	S B I インベストメント株式会社	代表取締役執行役員会長（現任）
	S B I ファーマ株式会社	代表取締役執行役員CEO（現任）
	S B I ウェルネスバンク株式会社	代表取締役会長（現任）
	株式会社SBI BITS	代表取締役会長（現任）
	S B I Hong Kong Holdings Co., Limited	Representative Director（現任）
	S B I リクイディティ・マーケット株式会社	取締役会長（現任）
	株式会社ネクシィーズ・トレード	取締役会長（現任）
	S B I キャピタルマネジメント株式会社	取締役会長（現任）
	S B I ファイナンシャルサービスーズ株式会社	取締役会長（現任）
	S B I ジャパンネクスト証券株式会社	取締役（現任）
	S B I FX Co., Limited	取締役（現任）
	S B I Ventures Malaysia Sdn. Bhd.	取締役（現任）
	S B I KOREA HOLDINGS CO., LTD.	Director（現任）
	S B I & TH (Beijing) Venture Capital Management Co., Ltd	董事（現任）
	アルヒ株式会社	代表取締役会長執行役員CEO
	S B I キャピタル株式会社	代表取締役執行役員CEO
	S B I アートフォリオ株式会社	代表取締役執行役員CEO
	S B I クレジット株式会社	代表取締役執行役員CEO
	S B I カード株式会社	代表取締役執行役員CEO
	ウォール・ストリート・ジャーナル・ジャパン株式会社	代表取締役
佐 原 正之助	S B I ベリトランス株式会社	取締役執行役員CEO
	S B I ベネフィット・システムズ株式会社	取締役執行役員CEO
	S B I HAWAII PROPERTY ONE, INC.	Vice President
古 庄 聡	イー・アドバイザー株式会社	取締役（現任）
	モーニングスター・アセット・マネジメント株式会社	取締役企画管理部担当
	モーニングスター・アセット・マネジメント株式会社	取締役企画管理部長

（注）親会社の子会社から当社および当社が合併した当社の子会社を除いて記載しております。

第2号議案

補欠監査役1名選任の件

法令に定める監査役の員数を欠くことになる場合に備え、会社法第329条第3項の規定に基づき、補欠の社外監査役1名を選任することをお願いするものであります。

本決議の効力は次期定時株主総会開始の時までといたします。

なお、本議案に関しましては、監査役会の同意を得ております。

補欠の監査役候補者は次のとおりであります。

かみ やま とし ゆき
神山 敏之

(1953年10月28日生) 所有する当社の株式数 一株

新任

略歴、当社における地位および担当

1978年 4 月	(株)富士銀行(現 (株)みずほ銀行) 入社	2007年 7 月	みずほインベスターズ証券(株)
2001年 5 月	同行 資金部長		(現 みずほ証券株) 執行役員(金融商品開発部担当、債権部・営業企画部副担当)
2002年 4 月	(株)みずほコーポレート銀行	2010年 4 月	Philippine National Bank
	(現 (株)みずほ銀行) 市場企画部欧州資金室長		東京支店長兼任日代表
2004年 4 月	(株)みずほ銀行 市場営業部長	2013年 4 月	SBIバイオテック(株) 常勤監査役(現任)

重要な兼職の状況

SBIバイオテック株式会社 常勤監査役

- (注) 1. 候補者と当社との間には、特別の利害関係はありません。
2. 神山敏之氏は、補欠の社外監査役候補者であります。
3. 神山敏之氏は、長年にわたり金融および企業経営に関する経験を積み重ね、豊富な経験と幅広い見識を有しており、当社の経営の監督に十分な役割を果たしていただけるものと判断し、補欠の社外監査役として選任をお願いするものであります。なお、SBIバイオテック(株)は、当社の特定関係事業者(親会社の子会社)であります。
3. 当社は、社外監査役との間で、会社法第427条第1項および当社定款第35条第2項の規定に基づき、100万円または法令の定める最低責任限度額のいずれか高い額を限度として、同法第423条第1項の賠償責任を限定する責任限定契約を締結しております。神山敏之氏が監査役に就任した場合には、当該契約を締結する予定であります。

以 上

定時株主総会会場ご案内図

会場	ホテルグランドアーク半蔵門 4階「富士」		
	東京都千代田区隼町1番1号 TEL (03) 3288-0111		
交通	東京メトロ 半蔵門線	半蔵門駅 A	1番出口より徒歩約2分
		B	3b出口より徒歩約3分 ※3b出口はエスカレーター部分が1番出口より長く、荷物がある場合に便利です。
東京メトロ 有楽町線	麹町駅 C	1番出口より徒歩約7分	



※駐車場の用意はいたしておりませんので、お車での来場はご遠慮くださいますようお願い申し上げます。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。